

あさ（くわ科）

2007 9 月 (Sep.)



日 SAN	月 MAN	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	1	2	3	4	5	6

アサの種子は「麻子仁」と言い、麻子仁丸等に使われます。麻子仁には、大麻にみられる幻覚成分は入っていませんので、薬用、食用に使われます。薬用としては、味：甘、性：平、腸の津液（水）を補い、乾燥便の排泄を促す、補血作用がある。中（お腹）を補い気を益す作用が有ることから、潤腸剤として用いられています。麻子仁+杏仁（アズキの種子）で腸を潤滑にして、乾燥便を治す麻子仁丸。麻子仁+当帰で熱病による乾燥便および虚血による便秘を治す潤腸湯。他に炙甘草湯の処方等に配合されています。

変更が遅くなりましたが、8/25-9/3の間、タイのBangkok (バンコク) 経由で、Bhutan (ブータン) の首都 Thimphu (ティンブー) に出かけていました。"Bhutan-Japan Symposium on Conservation and Utilization of Himalayan Medicinal Resources" (ブータン-日本、伝統医学の保護と有効利用のためのシンポジウム) に参加し、どうにか責任を果たして帰って来たところです。

今回は、Bhutanで見かけた小型のアサです。アサは雌雄異株(写真左：雌株、中央：雄株、右：生薬の麻子仁)でタウ科の植物です。ビールのホップ、和紙の原料のコウゾ、かわいそうな植物名のママコノシリヌダイ等がタウ科です。アサの種子は"麻子仁"と言い、麻子仁丸等に用いられます。また、食用では七味唐辛子に入っています。Bhutanでは、たまに若い人が不法に使用して捕まると言っていました。他には利用価値は少ないようです。形が小さいので繊維を取るのにはむいていないのでしょうか。

麻子仁には、大麻にみられる幻覚成分は入っていませんので、薬用、食用に用いられます。薬用としては、味：甘、性：平、腸の津液(水)を補い、乾燥便の排泄を促す、補血作用がある。中(お腹)を補い気を益す作用があるとことから、潤腸剤として用いられています。麻子仁+杏仁(アズキの種子)で腸を潤滑にして、乾燥便を治す麻子仁丸。麻子仁+当归で熱病による乾燥便および吐血による便秘を治す潤腸湯。他に炙甘草湯の処方等に配合されています。

大麻(花穂)は、大麻取締法で取り締まられています。麻葉、大麻、覚せい剤、ドラッグに手を出すと、脳、神経の異常をきたすので、安易に手を出すことは絶対にしないでください。また、東南アジア、中国では持っているだけで終身刑になります。外国に行って、知らない人から物を預ったりしないことです。

Bhutanの唯一の空港である Paro (パロ) 国際空港は、世界で最も離発着が難しいとされています(標高2300m、周りを3000m位の緑の山に囲まれています)。Paroから車で2時間の首都Thimphuは、標高2400mですが周りを松林に囲まれています。3000mを越してもツゲ等の大木の林があります。4000m付近でも、3mを越す木が沢山見られます。ネパールと大きく違う光景です。植物を一個採るごとに、ゴミを一個拾って来ました。Bhutanの方も一緒に拾ってくれました。私のいつもの癖ですが、

今回はシンポジウム、移動で座っている時間が余りにも長かったので、お尻が床ずれになりました。中黄膏を塗って治しています。